

長岡市都市計画マスタープラン に関するパブリックコメントの実施結果

1 概要

実施期間：令和3年1月18日（月）～令和3年2月1日（月）

閲覧方法：関係課窓口（都市計画課、支所産業建設課・建設課）、アオーレ情報ラウンジ、市ホームページ

意見状況：提出者 1人

提出意見 3件

2 寄せられたご意見と市の考え

No	該当箇所	ご意見・提案内容(要旨)	市の考え
1	全般	今までのようにただ箱モノを作る考えは賛成できない。金をかけない政策が絶対必要。金を使わず頭を使うことが必要。	<p>都市計画マスタープランには、今後のまちづくりの将来像に、人口・世帯数減少に対応した「安全・安心で持続可能なコンパクトシティ長岡」を掲げています。その目標の達成に向け、計画の共通事項として、「事業の選択と投資の集中」及び「既存ストックの有効活用」について記載していますので、計画の修正は行いません。以下に一例を示します。</p> <p>《住居系土地利用の方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既成市街地の有効活用と低未利用地の解消 ・まちなか居住区域への居住誘導 ・農村集落の維持と小さな拠点づくり <p>《既存ストックを活かした多様な連携の促進》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存ストックのマネジメントの推進 ・地域活性化に資する土地利用 ・県・近隣市町村との連携強化
2	P85	消費拡大、ステイホーム解消、病気の減少も期待できるため、コミュニティバスを出してほしい。	<p>人口減少及び高齢化を背景とした、「地域の足の確保」については、都市計画マスタープランに以下のとおり記載していますので計画の修正は行いません。</p> <p>今後は、コミュニティバスやデマンドタクシーなど、地域特性に応じた「地域の足」の確保について検討を行います。</p> <p>《地域の中心部と周辺集落を結ぶ生活交通の確保》</p> <p>住み慣れた地域に住み続けられるよう、多様な主体と連携し、適切な役割分担のもと、地域特性や需要に応じた移動手段の導入を検討します。</p>

3	P126	<p>若い人が定着するまちづくりをしてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚は市よりお祝い金を出す。 ・子供が産まれたらお祝い金を出す。 ・住宅補助をする。本市には人を呼び込む施設(観光施設や学生街等)がないため、空き家を弥彦村みたいに安く提供し、若者を集めればよい。 ・企業誘致や産業おこし、働く場所の創出 	<p>若者の定着に資するまちづくりの方策については、「第2期 長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において定めています。</p> <p>都市計画マスタープランでは、「都市機能集積を活かした、イノベーションまちづくりの推進」を掲げ、以下のとおり主な取組を記載していますので計画の修正は行いません。</p> <p>その他、いただいたご意見についても参考とさせていただきます。</p> <p>《若者の定住促進（就業・居住）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興に資する就業環境の創出 ・若者が魅力を感じる住生活の実現
---	------	--	---